

## 6. 教員活動報告

秋庭 裕子

### 共著書

- (1) (新見有紀子、渡部由紀、太田浩と共著)「留学による意識と能力の変化～学部留学のインパクト～」横田雅弘・太田浩・新見有紀子編『海外留学がキャリアと人生に与えるインパクト: 大規模調査による留学の効果測定』学文社、pp. 113-128、2018.3
- (2) (新見有紀子、米澤彰純と共著)「留学経験が収入や職業キャリアにもたらす効果」横田雅弘・太田浩・新見有紀子編『海外留学がキャリアと人生に与えるインパクト: 大規模調査による留学の効果測定』学文社、pp. 156-178、2018.3

### 論文

- (1) (新見有紀子、太田浩、横田雅弘と共著)「学部レベルの海外留学経験がキャリアにもたらすインパクト-学位取得目的、単位取得目的の留学者と留学未経験者に対するオンライン調査結果の比較より-」『留学交流』5月号 vol. 74、pp.14-26

### 学会発表

- (1) (Robin Sakamoto と共同発表) Building Intercultural Competence through the MEXT Global Human Resources Development Program」 Society for Intercultural Education, Training and Research (SIETAR) USA 17<sup>th</sup> Annual Conference, SanDiego, October 20, 2017.

### 研究プロジェクト

- (1) 平成 29-31 年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (一般)「国際教育プログラムの開発・普及・評価サイクルの構築: 高大連携による学びの実質化」(研究代表者: 堀江未来)(研究分担者)
- (2) 平成 28-30 年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (一般)「急速に発展するアジアの高等教育における大学国際化評価に関する実証的研究」(研究代表者: 新田功)(研究分担者)

阿部 仁

### 学会発表

- (1) 「知られざるグローバル人材: 北米在住外国学校出身者・海外教育経験者の日本進学に関する動向と課題」、一橋大学、2018.1.25
- (2) 「NAFSA Conference の活用法: Beyond NAFSA sessions and business meetings」Japan Special Interest Group 2018 Pre-NAFSA Workshop、日本英語検定協会、2018.2.8.

庵 功雄

著書

- (1) 『一歩進んだ日本語文法の教え方 1』くろしお出版、2017.6

共編著

- (1) (杉村泰・建石始・中俣尚己・劉志偉との共編著)『中国語話者のための日本語教育文法を求めて』日中言語文化出版社、2017.10  
 (2) (石黒圭・丸山岳彦との共編著)『時間の流れと文章の組み立て—林言語学の再解釈—』ひつじ書房、2017.11

論文

- (1) 「「は」と「が」の新しい捉え方についての一考察—「は」と「が」はこんなに簡単だった!—」『一橋日本語教育研究』6、ココ出版、1-10、2018.3  
 (2) 「新聞記事の見出しに見られる「誘導性」に関する定量的考察—朝日新聞の場合」『人文・自然研究』130-143、2018.3  
 (3) 「新しい留学生向け総合教科書作成のための予備的考察：初級文法項目を中心に」『言語文化』54、3-19、2018.3  
 (4) 「大学における英語中心主義を生き延びるための留学生日本語教育と〈やさしい日本語〉」『言語文化教育研究』15、5-10、2018.2  
 (5) "Brief survey of functional differences between the topic marker *wa* and the subject marker *ga* in modern Japanese", *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*. 58-1, 15-32, 2017.12  
 (6) 「第4章 テキスト言語学から見た『文の姿勢の研究』」庵功雄・石黒圭・丸山岳彦編『時間の流れと文章の組み立て 林言語学の再解釈』ひつじ書房、71-92、2017.11  
 (7) 「第8章 日本語教育から見た『基本文型の研究』」庵功雄・石黒圭・丸山岳彦編『時間の流れと文章の組み立て 林言語学の再解釈』ひつじ書房、167-182、2017.11  
 (8) 「学習者コーパスを用いた誤用観察の一試案—格助詞「に」を例に—」庵功雄ほか編『中国語話者のための日本語教育文法を求めて』日中言語文化出版社、1-14、2017.10  
 (9) 「限定詞「この」と「その」の機能差再考—大規模コーパスを用いた検証—」森山卓郎・三宅知宏編『語彙論的統語論の新展開』くろしお出版、257-272、2017.10  
 (10) "5 The layered structure of the sentence", Shibatani, M., Miyagawa, S. and Noda, H. (eds.) *Handbook of Japanese Syntax*. De Gruyter Mouton, 157-186, 2017.10  
 (11) (張志剛との共著)「第1章 正確で自然な立場の選び方」石黒圭編『現場に役立つ日本語教育研究 3 わかりやすく書ける文法シラバス』くろしお出版、3-18、2017.10  
 (12) (宮部真由美との共著)「第2章 正確で自然な時間の示し方」石黒圭編『現場に役立つ日本語教育研究 3 わかりやすく書ける文法シラバス』くろしお出版、19-36、2017.10

- (13) (宮部真由美との共著)「第4章 正確で自然な複文の組み立て方」石黒圭編『現場に役立つ日本語教育研究3 わかりやすく書ける文法シラバス』くろしお出版、57-74、2017.10
- (14) 「書評 金智賢著『日韓対照研究によるハトガと無助詞』」『日本語文法』17-2、日本語文法学会、180-187、2017.9
- (15) 「日日研が求めているもの」『日本語／日本語教育研究』8、ココ出版、231-245、2017.7  
**学会発表**
- (1) 「観光場面とくやさしい日本語」『日本言語政策学会 第19回大会予稿集』、118-120、日本言語政策学会、2017.6
- (2) 「産出のための文法」から見たボイス表現『日本語教育学会 2017 年度秋季大会予稿集』、2017.11

#### 講演

- (1) 「多文化共生社会と〈やさしい日本語〉」横浜市役所、2017.6.9
- (2) “Yasashii Nihongo (Easy Japanese) and its implication for the education of immigrants’ teenage children in Japan”, エジンバラ大学、2017.8.28
- (3) 「言語間の類似と相違を捉えるため機能主義的観点」、日本第二言語習得学会秋季セミナー、首都大学東京、2017.10.29
- (4) 「適切な文法形式の選び方」、シンポジウム「新しい作文研究のアプローチ」、国立国語研究所、2018.1.14
- (5) 「日本語教育におけるボイスの諸問題—学習者の母語を特定しない日本語教育の立場から—」実在の誤用に基づく類義表現研究会第4回研究発表会、日本学生支援機構大阪日本語教育センター、2018.1.20
- (6) 「日本語教育文法からみた「は」と「が」、シンポジウム「日本語文法研究のフロンティア」、国立国語研究所、2018.1.27
- (7) 「〈やさしい日本語〉に期待すること」、シンポジウム「〈やさしい日本語〉と多文化共生」、学習院女子大学、2018.2.17

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成29年度～32年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「やさしい日本語を用いた年少の言語的少数者向け総合日本語教材開発のための総合的研究」(研究代表者)
- (2) 平成25年度～28年度科学研究費補助金(基盤研究(A))「やさしい日本語を用いた言語的少数者に対する言語保障の枠組み策定のための総合的研究」(研究代表者)
- (3) 平成28年度～30年度科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「メディアの言説に介在する「二重の誘導性」に関する量的質的研究」(研究代表者:名嶋義直)(研究分担者)
- (4) 平成28年度～30年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「高等教育機関で学ぶ留学生に対する日本語教育シラバスの再構築」(研究代表者:太田陽子)(研究分担者)

今村 和宏

論文

- (1) (三枝令子、庵功雄、岩田一成と共著)「外国人にとってわかりやすい標識表記を考えるー留学生へのアンケート調査の結果を踏まえて」『人文・自然研究』第 12 号、pp.115-129、一橋大学 大学教育研究開発センター、2018.3

研究プロジェクト

- (1) 平成 28 年度～31 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 「文脈情報を用いた日本語学習者の文章理解過程の実証的研究」(研究分担者)
- (2) 平成 29 年度国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」(研究分担者)

太田 浩

著書

- (1) 「日本の海外留学促進政策の変遷」横田雅弘・太田浩・新見有紀子編『海外留学がキャリアと人生に与えるインパクト: 大規模調査による留学の効果測定』学文社、pp. 2-28、2018.3

共著書

- (1) (Coauthored with Kiyomi Horiuchi) “How Accessible are English-Taught Programs? Exploring International Admissions Procedures,” In A. Bradford & H. Brown (Eds.), *English-Medium Instruction in Japanese Higher Education, Multilingual Matters*, pp. 108-129, 2017.11
- (2) (新見有紀子、渡部由紀、秋庭裕子と共著)「留学による意識と能力の変化～学部留学のインパクト～」横田雅弘・太田浩・新見有紀子編『海外留学がキャリアと人生に与えるインパクト: 大規模調査による留学の効果測定』学文社、pp. 113-128、2018.3

論文

- (1) (新見有紀子、秋庭裕子、横田雅弘と共著)「学部レベルの海外留学経験がキャリアにもたらすインパクトー学位取得目的、単位取得目的留学経験者と留学未経験者に対するオンライン調査結果の比較よりー」『留学交流』Vol.74、pp. 14-26、2017.5
- (2) 「一橋大学の海外留学・研修制度」『IDE 現代の高等教育』12月号(596号)、pp. 38-43、2017.12
- (3) (Coauthored with Yuki Watabe) “Mapping Internationalization of Japanese Universities: Goals, Strategies, and Indicators,” *International Briefs for Higher Education Leaders*, No. 7, pp. 21-24, 2018.1

## 監修・報告

- (1) 「外国人留学生」『東京新聞(サンデー版):世界と日本大図解シリーズ(1346号)』、東京新聞、p.1とp.8、2018.3.25

## 学会発表

- (1) “Who is an International Student and Who is a Study Abroad Student?: Case of Japan”, p. 79, NAFSA 2017 Annual Conference & Expo, Los Angeles Convention Center, Los Angeles, June 1, 2017
- (2) “Challenges and Solutions: U.S.-Japanese Partnerships”, p. 73, NAFSA 2017 Annual Conference & Expo, Los Angeles Convention Center, Los Angeles, June 1, 2017
- (3) “How Accessible are English-Taught Programs?: Exploring International Admissions Procedures”, p. 12, The 53rd Annual Conference of Japan Comparative Education Society, The University of Tokyo, June 23, 2017
- (4) “Monetary and Non-monetary Benefits Brought About by Study Abroad for a Degree”, p. 74, AAS (Association for Asian Studies)-in-ASIA 2017 Conference, Korea University, Seoul, June 25, 2017
- (5) (Co-presented with Kiyomi Horiuchi) “The Accessibility of English-taught Degree Programs in Japan: Examining International Admissions Procedures”, The 22nd Annual Conference of Japan Association for International Student Education, Toyo University, Tokyo, August 19, 2017
- (6) (山崎その、伊多波良雄と共同発表)「階層分析法と大学経営」『大学行政管理学会第51回大会』、pp.105-106、西南学院大学、2017.9.3
- (7) “Monitoring and Enhancing Internationalization Efforts: Case of Japan”, p. 27, The 29th Annual EAIE Conference and Exhibition, Seville Conference and Exhibition Centre, Seville, September 13, 2017
- (8) 「日本の留学生政策をめぐる現状と課題」『異文化間教育学会第39回大会特定課題研究・公開研究会:政策的視点からの異文化間教育研究—課題と展望』東京大学、2017.12.10
- (9) “Trends and Policies of Internationalization in Japanese Higher Education -How "we" have survived-”, pp. 153-164, The 20th Korean Association of International Educators (KAIE) Annual Meeting, Lotte Hotel Jeju, Jeju Island, January 25, 2018

## シンポジウム

- (1) 「大学国際化の戦略:世界的動向と日本の課題」、2017年度南山学会シンポジウム:大学教育における国際化の意義と推進、南山大学、2017.11.1

- (2) 「海外留学の現状・政策的支援・課題」、一橋大学・津田塾大学経済学研究会シンポジウム：グローバル化に時代における人材教育、一橋大学、2017.11.25

**講演**

- (1) “Globalization and Internationalization of Higher Education in Japan”, Taiwan-Japan Higher Education Forum on Innovative Reform: New Opportunity, New Idea, and New Value, Alumni Association of National Taiwan University, Taipei, May 5, 2017
- (2) “Japanese Higher Education and International Education: A Comparative Perspective”, Northeastern University - Meiji University Dialogue 2017, Meiji University, Tokyo, May 24, 2017
- (3) 「英語による課程と留学生」、第3回日本語学校進路指導研究会セミナー、専門学校東京テクニカルカレッジ、2017.7.15
- (4) 「大学の海外展開：Transnational Educationを中心に」、中央教育審議会大学分科会将来構想部会制度・教育改革ワーキンググループ（第4回）、文部科学省、2017.9.22
- (5) 「外国学修歴・資格評価システム：留学生の入学選考を中心に」、外国学修歴・資格認証（FCE）連続セミナー（第2回）、東洋大学、2017.12.7

**研究プロジェクト**

- (1) “Project Atlas of Student Mobility,” IIE Research Project, Institute of International Education, New York, USA, 2009-Present
- (2) 平成27年度～29年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「大学評価における指標デザインとその活用方法の開発」（研究代表者：山崎その）（研究分担者）
- (3) 平成27年度～31年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「アジアにおける「知識外交」と高等教育の国際化に関する実証的研究」（研究代表者：北村友人）（研究分担者）
- (4) 平成28年度～30年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「外国学歴・資格認証における国際同等性の比較研究」（研究代表者：芦沢真五）（研究分担者）
- (5) 平成28年度～30年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「急速に発展するアジアの高等教育における大学国際化評価に関する実証的研究」（研究代表者：新田功）（研究分担者）
- (6) 平成28年度～30年度科学研究費補助金（基盤研究（B））「大学教育のグローバル・スタディーズ 競争・連携・アイデンティティ」（研究代表者：米澤彰純）（研究分担者）
- (7) 平成29年度～31年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「大学国際化マネジメントにおける教職協働の実証的研究」（研究代表者：米澤由香子）（研究分担者）

- (8) 平成29年度～33年度科学研究費補助金(基盤研究(A))「アジア太平洋地域の学生交流促進に向けた実証的研究—UMAPの活性化をめざして」(研究代表者:高橋一男)(研究分担者)
- (9) 文部科学省先導の大学改革推進委託事業研究(河合塾)「日本人の海外留学の効果測定に関する調査研究」(2017年～2018年)

**太田 陽子**

#### 論文

- (1) 「様子・予想・傾向を表す表現」シリーズ監修山内博之・中俣尚己編『コーパスから始まる例文作り』、くろしお出版、pp.67-90、2017.6
- (2) 「「文脈化」という視点——「～である」の練習の検討を例に——」江田すみれ・堀恵子編『習ったはずなのに使えない文法』、くろしお出版、pp.25-44、2017.10

#### 学会発表

- (1) 「使用文脈に合わせて使う—学習者にとって難しいこと」パネル発表『文法の教え方を探る—授受表現を例に一』2017年5月、日本語教育学会2016年春季大会
- (2) 「漢字指導と漢字学習を再考する—問題解決に向けた理念と方略—」高橋雅子・川口義一・佐藤尚子・太田陽子・林亜友美、2017年9月、早稲田日本語教育学会2017秋季大会

#### 講演・シンポジウム

- (1) 朝日カルチャーセンター日本語教育研修講座「中級日本語文法マスター 初級から中級への橋渡し」、朝日カルチャーセンター、2017.8.21、2017.8.28
- (2) 応用日本語学研究会主催 日本語教員向けワークショップ『コーパスから始まる例文作り』「本当は似ていない(かもしれない)類義表現」  
【第1回 関西会場】2017.10.14 京都外国語大学  
【第2回 東京会場】2018.3.4 聖心女子大学

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成28年度～30年度科学研究費補助金(基盤研究(C)一般)「高等教育機関で学ぶ留学生に対する日本語教育シラバスの再構築」(研究代表者)

**五味 政信**

#### 研究プロジェクト

- 平成28年度～30年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「文脈情報を用いた日本語学習者の文章理解過程の実証的研究」(研究代表者:石黒圭)(研究分担者)

**新見 有紀子**

**著書**

- (1) (横田雅弘、太田浩と共編) 『海外留学がキャリアと人生に与えるインパクト』学文社、2018.3
- (2) (岡本能里子と共著) 「海外留学とキャリア形成：期間別で見る海外留学のインパクト」『大学における海外体験学習への挑戦(子島進・藤原孝章編)』、pp.162-175、2017.12
- (3) (Coauthored with Akiyoshi Yonezawa) “Japan’s challenge in fostering global human resources: policy debates and practices. In Ryoko Tsuneyoshi (Ed.), *Globalization and Japanese "Exceptionalism" in Education*, Oxford, UK: Routledge, pp.43-60, 2017.9

**論文**

- (1) 「日本人大学院留学生の授業関連活動への参加と能力・意識の高まり：自己評価に基づく質問票調査の結果より」『異文化間教育』46号、pp.125-139、2017.8
- (2) (秋庭裕子、太田浩、横田雅弘と共著)「学部レベルの海外留学経験がキャリアにもたらすインパクト：学位取得目的、単位取得目的留学経験者と留学未経験者に対するオンライン調査結果の比較より」『留学交流』74号、pp.14-26、2017.5

**学会発表**

- (1) (福井文威、林隆之と共同発表)「学際的な教育研究活動推進のための戦略：研究大学の戦略計画に着目した日英米の比較研究」『研究・イノベーション学会第32回年次学術大会』、研究・イノベーション学会、京都大学、2017.10.29
- (2) “Comparison on monetary and non-monetary benefits brought by studying for an undergraduate degree in Japan and abroad”, Japan Association for International Student Education (JAISE) 22th Annual Conference, Toyo University, August 19 2017.
- (3) (福井文威、林隆之、宮本岩男、上山隆大と共同発表)「研究大学の戦略に関する国際比較：戦略計画の Key Performance Indicators (KPIs)に着目したテキスト分析の可能性」『日本高等教育学会20回大会』、日本高等教育学会、東北大学、2017.5.27

**研究プロジェクト**

- (1) 平成27年度～31年度科学研究費補助金(基盤研究(A)海外学術調査)「アジアにおける「知識外交」と高等教育の国際化に関する実証的研究」(研究代表者：北村友人)(研究協力者)
- (2) 平成28年度～30年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「急速に発展するアジアの高等教育における大学国際化評価に関する実証的研究」(研究代表者：新田功)(研究分担者)



- (3) 平成28年度～30年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「外国学歴・資格認証における国際同等性の比較研究」(研究代表者: 芦沢真五)(研究協力者)
- (4) 政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター研究プロジェクト「イノベーションシステムを推進する公的研究機関の制度的研究」(客員研究員)(平成28年度～平成30年度)

高橋 紗弥子

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成28年度～30年度科学研究費補助金(基盤研究(C)一般)「高等教育機関で学ぶ留学生に対する日本語教育シラバスの再構築」(研究代表者: 太田陽子)(研究分担者)

西谷 まり

#### 論文

- (1) "Evaluation of a Japanese Language Trial Lesson Using Fishwatchr" *US-China Education Review A*, Vol.7 No 6, pp.285-292, 2017.6 (with Takuya IWASAKI)

#### 報告

- (1) 「日越ビジネスコミュニケーションにおける不安と失敗の捉え方の変容」『一橋大学国際教育センター紀要』第8号、pp.133-142、2017.7.

#### 学会発表

- (1) 「日越ビジネスコミュニケーションにおける不安と失敗の捉え方の変容」『異文化間教育学会第37回大会発表抄録』pp.122-123、東北大学、2017.6
- (2) 「FishWatchrを利用した日本語授業評価による、評価観点の多様化」『日本教育工学会研究報告会 JEST16-4』pp.81-88、関西学院大学、2017.12

#### 講演

- (1) "Hệ thống đánh giá giảng dạy mới trong đào tạo giáo viên ở Nhật Bản,"(New teaching evaluation system in teacher training in Japan),ホーチミン市師範大学、2017.12.16

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成27年度～29年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「失敗から学ぶ日越ビジネスコミュニケーション指導法の開発」(研究代表者)

柳田 直美

#### 論文

- (1) (宇佐美洋と共著)「参加型授業」に対する抵抗感はどこから来るのか：学習観の多様性に向き合うための事例研究』『カナダ日本語教育振興会 2017 年度大会プロシーディングズ』 pp. 262-27. 12017.10

#### 学会発表

- (1) (神吉宇一と共同)「地域の日本語学習支援における支援者の意識」、韓国日語日文学会 (オンライン発表)、2017.12
- (2) (山口昌也、北村雅則、森篤嗣と共同)「学習者用モバイル観察支援ツール FishWatchr Mini における振り返り支援機能の開発」、日本教育工学会第 33 回全国大会 (島根大学)、2017.9
- (3) (Kiyomi Fujii と共同)“Conveying the self in a foreign language:a self-introduction case study”、第 21 回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム (Universidade Nova de Lisboa)、2017.9
- (4) (宇佐美洋と共同)「参加型授業」に対する抵抗感はどこから来るのか：学習観の多様性に向き合うための事例研究」カナダ日本語教育振興会 2017 年年度大会 (カルガリー大学)、2017.8
- (5) 「日本人学生を対象とした多文化共生対応スキル養成プログラムの実践ー「やさしい日本語」を用いた多文化共生対応のための言語スキルの養成ー」、2017 年度異文化間教育学会第 38 回大会 (東北大学)、2017.6
- (6) 「非母語話者は母語話者の「説明」をどのように評価するかー評価に影響を与える観点の分析ー」2017 年度日本語教育学会春季大会 (早稲田大学)、2017.5

#### シンポジウム

- (1) 「自治体等との〈やさしい日本語〉協働研究」(パネルディスカッション 4 〈やさしい日本語〉に対する自治体の取り組み)、〈やさしい日本語〉と多文化共生シンポジウム(学習院女子大学)、2018.2
- (2) 「〈やさしい日本語〉実践講座」(ブース発表)、〈やさしい日本語〉と多文化共生シンポジウム (学習院女子大学)、2018.2

#### 講演

- (1) 神奈川県横浜市鶴見区主催「鶴見区職員向け研修『やさしい日本語』を知らう！使おう！」(鶴見区役所 (神奈川県横浜市))、2018.1.25
- (2) 公益財団法人栃木県国際交流協会・日光市・日光市国際交流協会主催日本語学習支援事業「やさしい日本語セミナー」(日光市中央公民館 (栃木県日光市))、2018.1.24

- (3) 栃木県・公益財団法人栃木県国際交流協会・那須塩原市・那須塩原市国際交流協会・栃木市・栃木市国際交流協会主催「みんなで「やさしい日本語」！ワークショップ」(東那須野公民館(栃木県那須塩原市) 2017.12.2、栃木市民会館(栃木県栃木市) 2017.12.9、とちぎ国際交流センター(栃木県宇都宮市) 2017.12.16)

#### 研究プロジェクト

- (1) 平成 29 年度～31 年度文部科学省科学研究費(若手研究(B))「外国人との接触場面における日本人の「説明」に対する評価指標の開発」(研究代表者)
- (2) 平成 28 年度～30 年度文部科学省科学研究費(基盤研究(B))「多文化共生社会におけるホストパーソン・支援者の接触支援スキルと意識の変容」(研究代表者:義永未央子)(研究分担者)
- (3) 平成 28 年度～30 年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C))「「価値観に働きかける研修」のあり方を問う基礎的研究」(研究代表者:宇佐美洋)(研究分担者)
- (4) 平成 29 年度～31 年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C))「「話し合い」の多文化間比較研究—文化を越えた対話能力の育成を目指して」(研究代表者:森本郁代)(研究分担者)
- (5) 平成 28 年度～30 年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C))「ビデオアノテーションを利用した協同型実習活動支援システムに関する研究」(研究代表者:山口昌也)(研究分担者)
- (6) 平成 28 年度～30 年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C))「高等教育機関で学ぶ留学生に対する日本語教育シラバスの再構築」(研究代表者:太田陽子)(連携研究者)
- (7) 平成 27 年度～29 年度文部科学省科学研究費(挑戦的萌芽研究)「「私らしく」産出できるようになるためのウェブ型日本語教材の開発」(研究代表者:小林ミナ)(連携研究者)
- (8) 平成 29 年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C))「アカデミック・ライティング技術の習得を目指したピア・レスポンスの実証的研究」(研究代表者:鳥日哲)(連携研究者)

## 教員の海外渡航

### 秋庭 裕子

- (1) 2017. 8.26~9.1 マレーシア・シンガポール  
短期海外研修（シンガポール経営大学・マレーシア工科大学）の現地打ち合わせ
- (2) 2017.9.28~10.2 ベトナム（ハノイ、ホーチミン）  
日本留学フェアへの参加
- (3) 2017.10.13~10.22 アメリカ（ミネアポリス、サンディエゴ）  
12月開催予定のワークショップの打ち合わせと SIETAR 年次総会での発表
- (4) 2018.2.28~3.9 マレーシア・シンガポール  
短期海外研修（シンガポール経営大学・マレーシア工科大学）の引率
- (5) 2018.3.15~3.26 アメリカ（ミネアポリス）  
ミネソタ大学の国際化に関わるインタビュー調査と資料収集

### 阿部 仁

- (1) 2017.5.30~6.5 アメリカ（ロサンゼルス）
  1. NAFSA (Association of International Educators)年次総会での出席
  2. 2017 日本の大学進学と卒業後のキャリアを考える教育セミナーへの参加
- (2) 2017.8.1~8.3 シンガポール  
シンガポール経営大学における短期海外研修（シンガポール）企画打合せ
- (3) 2017.8.21~8.30 アメリカ（スタンフォード、フィラデルフィア、デービス）、海外語学研修（英語）プログラム視察および現地校担当者との情報交換
- (4) 2017.9.11~9.17 スペイン（セビリア） EAIE (European Association for International Educators)年次総会への参加
- (5) 2017.2.13~2.22 アメリカ（ミネアポリス、アンアーバー、フィラデルフィア、ユージーン、サンタバーバラ）
  1. 協定校担当者に対する HGP プログラムプロモーション
  2. 協定大学における海外留学フェア参加
- (6) 2018.2.10~2.17 スペイン（マドリッド）
  1. 短期海外研修（スペイン企業派遣）視察
  2. 在マドリッド日本大使館 表敬訪問
- (7) 2018.2.13~2.22 アメリカ（アーバイン、フィラデルフィア、ボストン、オースティン）  
海外語学研修（英語）プログラム視察および現地校担当者との情報交換
- (8) 2018.3.18~3.26 アメリカ（シアトル）  
Personal Leadership 異文化理解研修会への出席

庵 功雄

- (1) 2017.8.25～9.4 イギリス (スコットランド)、ポルトガル (リスボン)  
エジンバラ大学における講演、および、EASJにおけるパネルディスカッション発表
- (2) 2017.10.6～10.9 台湾 (台北)  
東呉大学における集中講義
- (3) 2018.1.5～1.8 台湾 (台北)  
東呉大学における講演および集中講義
- (4) 2018.3.1～3.12 台湾 (台北)  
東呉大学における教育実習引率および同大学における集中講義

太田 浩

- (1) 2017.5.27～6.3 アメリカ (ロサンゼルス)  
NAFSA 年次総会に出席し、CULCON (日米文化教育交流会議) 企画のセッションにおいて本学 HGP に関する発表、IIE 企画のセッションにおいて、日米間の学生流動性に関する発表、および学生交流協定についての打ち合わせ
- (2) 2017.6.24～6.25 韓国 (ソウル)  
The Association for Asian Studies (AAS) において海外留学のベネフィットに関する比較研究の発表
- (3) 2017.8.27～9.2 香港  
香港中文大学のインターナショナル・サマースクールを訪問・視察し、担当部署との打ち合わせ、および海外インターン型ビジネス研修の実施
- (4) 2017.9.8～9.17 イタリア (ミラノ)、スペイン (セビリア)  
Università Cattolica del Sacro Cuore の Centre for Internationalization of Higher Education における会議に客員研究員として出席。EAIE 年次総会に出席し、英語による科目と課程に関するワークショップに参加、日本における大学国際化の評価に関する発表、および学生交流協定についての打ち合わせ
- (5) 2017.11.8～11.11 タイ (バンコク)  
UNESCO Bangkok で開催された国際会議において大学国際化の評価指標開発に関する発表
- (6) 2017.12.12～12.15 韓国 (ソウル)  
韓国の外国人留学生事情、および韓国における大学国際化推進の取り組みとマネジメントに関する聞き取り調査の実施

(7) 2018.1.24～1.26 韓国（済州島）

KAIE 年次総会に出席し、韓国における外国学修歴・資格認証の現況と外国学修歴・資格認証機関の動向についての聞き取り調査実施、および日本の大学国際化の政策と動向について講演

(8) 2018.3.5～3.11 オランダ（アムステルダム）、ドイツ（ボン）

政府関係機関・現地大学を訪問し、外国学修歴・資格認証と大学の留学生アドミッションに関する実態調査、および政府系認証機関との連携についての聞き取り調査の実施

(9) 2018.2.17～2.23 アメリカ（ワシントン D.C.）

AIEA 年次総会に出席し、一般教養やリベラルアーツにおけるカリキュラムの国際化とグローバル化への対応に関する聞き取り調査の実施、および欧米の大学における大学国際化のマネジメントと教職協働の実情に関するセッションに参加

(10) 2018.3.13～3.16 香港

短期海外研修（香港）における受入れ企業への訪問、および本学協定校の香港中文大学（CUHK）との打ち合わせ

(11) 2018.3.24～3.29 シンガポール

APAIE 年次大会に出席し、アジアを中心とする国際学生交流や短期留学に関する情報収集、ならびに既存の学生交流協定校や学生交流協定候補校との打ち合わせ

奇 春花

(1) 2017.7.24～7.27 アメリカ（ポートランド）

Summer Institute for Intercultural Communication の参加

(2) 2017.8.27～9.2 香港

短期海外研修（香港）視察

(3) 2017.9.8～9.11 韓国（釜山、ソウル）

JASSO 留学フェア参加

五味 政信

(1) 2017.11.29～12.3 ベトナム（ハノイ）

大学間学生交流支援でハノイ貿易大学を訪問

(2) 2018.1.22～1.29 ベトナム（ハノイ・ダナン）

方言調査等のためハノイ国家大学人文社会科学大学、ダナン外国語大学を訪問

西谷 まり

(1) 2017.8.8～8.22 ベトナム（ホーチミン）

日越ビジネスコミュニケーション研究

- (2) 2017.12.14～12.20 ベトナム (ホーチミン)  
ホーチミン市師範大学における講演及び日越ビジネスコミュニケーション研究
- (3) 2017.3.3～3.18 ベトナム (ホーチミン)  
大学院教育実習指導

**柳田 直美**

- (1) 2017.8.30～9.1 リスボン (ポルトガル)  
第21回ヨーロッパ日本語教育シンポジウムでの研究発表